(1

公表 事業所における自己評価結果 は大している点 開書となるものを収納できるスペースがある のでので、必要な時に出して遊べるようにし 国立西が発達を揮撃等の2ペースとの際名で通灯であるか。 本語によるという。 のでので、必要な時に出して並べるようにし、 クガ防止に努めている。 人員不足の際には、非常動機員(運転子も含む を適切に配置している。 (用定器やこどもの状態等に対して、脳器の配置数は適切である \* 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。 また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、パリアフリー化や 排伝達等、環境上の配慮が測切になされているか。 段差等がある。死角となる場所が多く、ぶつ 排除を毎日丁寧に行っている。また、学器や 誘書の時間には玩具を片つが学器に集中でき る工大をしている。 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる程明になっているか。また こども適の函数に会わせた空間となっているか。 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認める る種項になっているか。 窓から様子を確認できる状況でクールダウン 時に個室の利用が可能 5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に 広く職員が参画しているか。 保護者向け評価表により、保護者等の務向等を死難する機会を設け おり、その内容を業務改善につなげているか。 8 職員の原見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 なげているか。 職員打ち会わせを毎日行って、情報交換を設 にしている。 5 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげてい 種研修を受遇予定 義務研修はあるが、それ以外にスキルアップ の研修の機会を作って欲しい。 10 職員の眞質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 修を開催する機会が確保されているか。 2 保護者がデイロボより支援プログラムを確認 できる。 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 個別支援計画作成においてスケッフと「個別 支援計画検討会議」を行っている。 4 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に迫った支 行われているか。 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー なアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルス スメントを使用する等により確認しているか。 登録後号デイサービス計画には、設課後号デイサービスガイドライ の「放課後号デイサービスの使用すべき支援」。 「本人支援」、 独支援」、「移行支援」及び「別域支援・物域運搬」のロらい及に 取り合む指定えなびから、こそのの変化を要な項目が適切に設定さ そのとで、具体的な支援的名が設定されているか。 利用者の状況を把握し、スクッフで活動プロ グラムを立案している。 活動プログラムの立掌をチームで行っているか。 外部場所の運動プログラムの日程を元に、活動が掘らないように制作活動や集団遊びを組 め込んでいる。 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて! 後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 本人の意思を尊重し、集団活動と個別の活動 を選択できる環境づくりを行っている。 支援開始的には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援 8や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい 対策開始前の打ち合わせは必要に応じて行 にいけるようにする。 オンラインツールを使用している。 支援終了後はその日の振り返りや改善点を話 し合っている。 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に なげているか。 「業務日誌」に記録をし、職員で確認できる ようになっている。 23 定用的にモニタリングを行い、放酵後等デイサービス計画の見直し 必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 半年に1度モニタリングを行っている。 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組合わせて支援を行っているか。 「地域交流の機会の提供」に関しては、今後 少しづつ広げていきたいと思っている。 25 にどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等。自己が をする力を育てるための支援を行っているか。 毎日の支援の中で、こどもが自己選択、自己 決定できるように要議して支援を行っている 5 26 障害児権談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 27 物域の保健、医療 (主治医や協力医療機関等)、障害指征、保育、 背等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 3 現在行われていない。 2 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校料 の審談等)、連絡開整(送送時の対応、トラブル発生時の連絡)を 切に行っているか。 数学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども間、児童発達が 事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 一部情報交換会を実施した。 学校を平職し、放課後等テイサービスから障害福祉サービス事業所 へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等してい 5 終州客なし お城の児童発達支援センターとの連携を回り、必要等に応じてスージ ーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 32 物質後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する 機合かあるか。 5 現在行われていない。 (自立支援) 協議会等へ構程的に参加しているか。 依頼に応じて参加する。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 地について共通理解を持っているか。 写真付きの連絡順を用いて、日頃の様子や課 期等をやりとりできている。 原族の対応力の向上を図る観点から、原族に対して原族支援プログ ム (ペアレント・トレーニング等) や原族等の教旨できる研修の機会 現在行われていない。 1 4 通常規程、支援プログラム、利用者負担等について丁草な説明を行っているか。 直設時に保護者様への関き取りや事業所内会 議を通して、内容を支援計画に反映している 5 38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い 保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 対面や連絡様などを介して相談があった場合 に応じている。 事務等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、国談や必要 収励賞と支援を行っているか。 父母の会の活動を支援することや、保護客会等を開催する等により 保護者向土で交流する場合を設ける等の支援をしているか、また、 ようだい同土で交流する機能を設ける等の支援をしているか。 現在行われていない。 こどもや保護者からの芸情について、対応の体制を整備するとともに 、こどもや保護者に周知し、芸情があった場合に迅速かつ週間に対 新情に対して対応できるよう体制が整えられ ている。 アプリを用いて活動概要や行事を発信している。 5 43 個人情報の取扱いに十分経察しているか。 偏原している。 保護者との情報のやり取りは行っている。会 話での表現が難しいご利得者様には挙訟等を 用いてコミュニケーションを図っている。 等書のあるこどもや保護者との原思の疎通や情報伝達のための配慮を しているか。 45 季業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業運営を っているか。 5 現在行われていない。 事故的点マニュアル、類章時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 切がのマニュアル等を無定し、職員や要抜等に開始するとともに、発 生を想定した訓練を実施しているか。 各マニュアルを策定している。今後発生を想 定した訓練を実施予定。 47 業務無統計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え 支票的に避難、救出その物必要な訓練を行っているか。 BCPを策定し、消防者と連携した訓練を実施している。 48 事前に、服業や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認 いるか。 草的時に行っている。 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示者に基づく対 されているか。 おやつ購入時に成分表示のダブルチェックを 行っている。 50 安全計画を存成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な を購じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 安全計画を作成している。 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう。安全 面に基づく取組内容について、家族等へ原知しているか。 52 とヤリハットを事業所内で共有し、再発的止に向けた力策につい 終をしているか。 とヤリハットが起きた場合は迷やかに事故報 由書を作成し、職員問訴知、再発的止に努め ている。 5 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を ているか。 返得的止に関しての研修を行っている。 5 このような場合にやむを得ず身体内束を行うかについて、組織的に 定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たまで、放譲 等デイザービス計画に記載しているか。 (協身体育事が様常される場合計画に記載する 政治教験し、